

第二回拡大幹事会

9月23日(祝)午後1時から  
場所; 東京土建練馬支部会館  
参加要請; 各組合1人以上

# 練馬労連

発行所: 練馬区労働組合総連合  
練馬区中村北1-6-2  
東京土建練馬支部内  
電話 03-3825-7146  
fax 03-3825-7117

## 核兵器廃絶、原発撤去し、放射能のない社会を!



### 原水爆禁止2011年世界大会・長崎大会

爆発的な運動をつくりだし、核兵器をなくす行動に立ち上がろう

秋の国連総会へ「核兵器全面禁止のアピール」署名を届けよう



原水爆禁止世界大会へ参加した練馬代表団。筆者は左下

私は、初めての参加として初めての長崎となった。広島では、子供のころから数え切れないほど原爆ドームをみてきた。いまでも原爆ドームを鮮明に思い出せる。平和とは何かという大きな課題の中の一つを考えさせられる建物である。長崎もまた原子爆弾を落とされてきている。だからこそ

8月7日、羽田空港から福岡空港に行き、バスで長崎に向かった。原水爆禁止2011世界大会長崎開会総会は7800人以上の立ち見のいるなか行われた。海外の代表者、田上富久長崎市長、日本共産党志井和夫委員長、参加団体等の挨拶。長崎市民会館は熱気に包まれていた。

動く分科会で私は、日本だけではなく海外の取り組みまた、海外から見た日本とはどんなものだろうと特に開会式での海外の平和団体の挨拶を聞いて興味を持ち、「非核平和のアジアをー交流と連帯」に行った。「非核平和のアジアをー交流と連帯」にいられたいた海外の方は、アメリカ人、中国人、韓国人の各平和団体代表(韓国の方は代表の方)3人と日本人の代表、合計4人の方を中心として、参加者との討論会形式の分科会だった。各代表の方々の国々の取り組みと現状が最初になり、後半から討論というかたちで、海外の問題もいろいろと聞くことができた。聞いたなかで

広島とはまた違う、だが鮮明に残るであろう何かを発見することができると期待感とともに原水爆禁止大会長崎に私はやってきた。そんな思いでの開会式はこれからの大会への取り組みへの起爆材料となつた。

アメリカの軍事費予算が国の予算の60%を納めているというのに驚いた。それとともにアメリカ化しているように感じる日本も同じようになると危惧感がないと思つた。私の中で芽生えた。その他にも、核兵器だけではなく、今日日本が抱えている領土問題等の話を現地の方へ韓国の意見を聞いたり、ここでは一つの分科会だけで書ききれないほどの話があった。

### 自然破壊の原発はノ1

最後になるが、福島原発問題は今回の原水爆禁止大会で話題に上がっている。核爆弾による被爆ではなく、資源エネルギーによる被爆が起きている。時代の進歩において必要であったかもしれないが、制御できないエネルギー、自然を破壊するエネルギーには、「ノー」とこれからはっきりと言える自分でありたい。

横井 日香瑠  
教宣文化社分會



保育士さんによる恒例のフラダンス

7月29日、核兵器廃絶練馬平和行進を行いました。この集会には、東京土建練馬支部を始め、14団体約300人が参加しました。豊玉公園での出発集会では、保育園の有志によるフラダンスで始まり、自分の体験を踏まえ、核兵器をなくすためにがんばろうと練馬被爆者の会の井上元会長が挨拶をしました。各団体が決意表明を行い、2011年原水爆禁止世界大会参加者が一人ひとり決意表明を行いました。

世界中ですべての戦争をなくし、核戦争による地球の破壊を防ぎ平和な地球を我々の手で作って行こう。との決議を採択し、雨の中、中新井公園までデモ行進をし、核兵器なくせ、原発から撤退せよ、などと区民へ訴えました。

# 東京の最低賃金は837円に

7月27日、中央最低賃金審議会は2011年度の地域最低賃金改定の「目安額」を決定しました。東日本大震災を口実に、最低1円から最高18円、全国平均わずか6円です。

## とんでもない調停額

一方、生活保護額との逆転現象解消のため、東京都16円、など試算値も別途提示されました。8月5日東京地方最低賃金審議会は、現行時間額821円に16円プラスした1時間837円とする答申を行ないました。

## 暮らしが暮らせますか

厚生労働省の言う生活保護との乖離金額16円をプラスしたものの、全

く実態に合わない金額です。勤労者の生活保護額は、東京春闘共闘の試算で時給1437円（乖離額600円）、08年首都圏最低生計費調査は、1339円（乖離額502円）です。月収123000円台で家賃を払って暮らしていける金額でしょうか。

憲法25条を厚生労働省はどつみているのでしょうか。

## 政府は本気で財界に物申し労働者の保護を

「雇用戦略対話」の合意事項の全国平均1000円を2020年までに実現するためには、東京では、毎年40円以上の引き上げが求められます。自ら決めたことは政治の責任として守ってほしいものです。

# ご支援ありがとうございました 千田国広さん、7月21日から 東映アニメーションに職場復帰しました

## 東映アニメ・千田国広さん解雇撤回闘争和解のご報告

契約労働者として27年間も東映アニメーションで働いてきたにもかかわらず、今年3月末で解雇となった千田国広さんの解雇撤回闘争ですが、7月19日、ついに和解が成立して解決しました。

千田さんは新たに東映アニメーションと契約を締結して、7月21日から東映アニメーションに職場復帰しました。

また千田さんは東映アニメーションの直庸契約者となり、社会保険が付いて、賃上げや一時金もある東映アニメーションの一般契約者と同等の契約となりました。

これらはきわめて大きな成果だと思えます。非労働者化が進む中で、契約労働者の労働者性を争う点でも意義がありました。

闘いの後半では、新国立劇場事件やINAXメンテナンス事件の、出演者や請負契約者でも労働者だとした最高裁逆転判決が追い風になりました。

これもひとえに東映アニメ闘争支援共闘会議に結集された皆様をはじめ、355筆もの団体署名を寄せていただいた全国の労働組合、東京争議団、諸団体の皆様方、重要な法的助言を与えてくださいました龍谷大学・萬井隆令名誉教授、そして城北法律事務所の弁護団の皆様方の篤いご支援によるものです。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

千田国広さんの解雇撤回闘争は解決しましたが、アニメ産業の状況は厳しくなる一方で、東映アニメーションでも新たなリストラ攻撃が起こりかねません。また、契約労働者の労働者性をめぐる闘いも、これからが本番です。当該の東映動画労組、全東映労連、そして映演労連のこれからの闘いをぜひご支援ください。

2011年8月11日

東映アニメ闘争支援共闘会議  
議長 東海林 智

## お礼

昨年の10月1日から裁判を始めて、今年7月19日に会社と「新規採用」という形で和解し、7月21日から新たな職種で働きはじめました。

裁判中は、上部団体の全東映労連、映演労連の方々、練馬労連、東京争議団の仲間の皆さん、MICの方々、支援共闘会議のメンバーになってくださった方々、そして城北法律事務所の先生方には、様々な形で沢山のご支援をいただきました。大変ありがとうございました。

これからも、自分の裁判の追い風になった新国立劇場の最高裁逆転勝利判決を勝ち取った八重樫さんの裁判の応援や、様々な運動を通じて、皆様とともに行動していきたいと思っています。

よろしくお願い致します。